

## 第4回市民懇談会および第3回策定班会議が開催されました！

第4回市民懇談会では、市民メンバーに加え、市担当職員も参加（第3回策定班会議）し、「市街地のみどり」、「公園のみどり」、「水辺のみどり」、「樹林地のみどり」をテーマに意見・提案を出し合いました。テーマ別に市民と市（行政）が同じテーブルで議論をすることにより、みどりに関わる様々な問題点等を共有化することができました。各テーマで挙げられた意見は次の通りです。

### 市街地のみどり

問 題 点	案 案
<ul style="list-style-type: none"> <li>●クロマツ ・クロマツの保護を個人で行うのは困難である。</li> </ul>	⇒ 補助制度を充実させる。（クロマツ保護基金、クロマツ苗木、事業者に呼び掛けて資金集めなど） ・市川横浜地区に白砂青松を再植する。
<ul style="list-style-type: none"> <li>●公園 ・市川市の一人当たりの公園面積が少ない ・公園をつくるスペースがない。</li> </ul>	⇒ 市の補助金を利用する。 ・遊休地を公園化する。 ・遊休地を有している人に開放してもらう。 ・公園として都市計画決定する。
<ul style="list-style-type: none"> <li>●道路 ・道路が狭いので道路に緑地帯を設置できない。 ・コンクリートやアスファルトで覆われており、植物が育つ地帯が少ない。 ・車の排気ガスにより、植物が育ちにくい。 ・街路樹が少なくて、実用が良くない所がある。</li> </ul>	⇒ 制度を整備する。 ・建築協定制度を設け、建物をセットバックする。 （街路樹を植えるには歩道が2.5m必要であり、地区での話し合いが求められる） ・市としてのアピールが必要（モデル地区を作って、賞を出すなど）
<ul style="list-style-type: none"> <li>●住宅 ・コンクリートの壁による日照不足。 ・生活が少ない。 ・市街地では緑地が残っていない、すぐに建物を建ててしまう。</li> </ul>	⇒ 建築協定のモデルを作る（建築基準法） ・地区計画のモデルを作る（都市計画法） ・地域を決めて、市民から募集し、それに対して市が補助金や賞状等のインセンティブを与える。  ・市川市独自の新しい制度を作り出す。 ・市民として緑の大切さを認識（皆のための緑という意識） ・行政として事業等のPRを積極的に行う。 ・市民、事業者、市のパートナーシップ

### 公園のみどり

問 題 点	案 案
<ul style="list-style-type: none"> <li>●居住環境の中の公園（方針1） ・ブランコ、すべり台、砂場だけの公園が多く、子供達の遊び場中心の整備となっている。 （遊具）自然環境との調和が図られている。</li> </ul>	⇒ 1年を通して四季折々の自然が楽しめる公園づくり。 ・遊休地を公園とする。
<ul style="list-style-type: none"> <li>●公園の活用（方針2） ・自然観察と楽しむ公園とは矛盾するのではない。 ・何でも観光化して、活性化していくのは問題。</li> </ul>	⇒ テーマ、機能別に公園を分け、ネットワーク化する。（例：高層下の公園は花壇のみにするなど） ・自然観察と楽しむ公園とは機能が異なるため、分けて整備する。 ・地域によって公園の在り方を変える。 （大規模公園は人を呼び込む。地元の人々が日常的に利用する公園は人寄せはしない）
<ul style="list-style-type: none"> <li>●生物の生息環境（方針3） ・北部でしかできないわけではない。 ・虫が見られない公園が南部を中心に多い。 ・両側の公園で排水公園取入れを確保しなくてはならない。</li> </ul>	⇒ 遊休地の保護地を活用し、自然を創造する。 ・子供たちが公園で虫取りができる環境をつくる。 ・公園と一緒に水辺をつくる。 ・市南側でも公園の再整備において、ピオトープ等をつくる。
<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民、事業者、市の役割 ・住民の意識を高める必要がある。</li> </ul>	⇒ 公園整備計画から住民が参加する。 ・公園の運営管理の体制づくりを住民参加で検討する。

### ●市民懇談会の流れ

- 第1回（8月27日）  
：はじめに～緑の基本計画について勉強しましょう！
- 第2回（9月10日）  
：市内の緑の現状を話し合いましょう！
- 第3回（10月2日）  
：市内の緑の様子を一語に話し合いましょう！
- 第4回（10月23日）  
：本市の緑の将来像・目標を定めよう！
- 第5回（11月13日）  
：どのような緑地をどのように配置しますか！
- 第6回（12月4日）  
：緑を守り、緑を育てる方法を考えよう！

市民懇談会は今年度6回の開催を予定しています！